

地域連携物流システム検討の取組み

2018年7月

名寄地域連携物流システム検討協議会

地域連携物流システム構築に向けた取組み

	時 期	内 容
①	2017年 7月	「道の駅」を活用した地域連携物流システムの提言
②	10月 12月	「道北経済人フォーラム」開催 「名寄地域連携物流システム検討協議会」発足
③	12月 2018年 1月~3月	道北への物流アンケート調査実施 〔物流アンケート調査は、道北の北部を対象に物流動向を把握 するため、荷主に対してアンケート調査を実施 アンケート結果とりまとめ & ヒアリング調査〕
④	6月	物流会社イメージ検討
	(以下予定)	
⑤	7月	共同輸送に協力する荷主集め
	10月	道庁事業を活用した道北広域からの集荷による共同輸送の実証実験
	2019年 1月~3月	官民連携による荷主発掘
	2019年 4月~	実証実験に基づいた物流コスト引下げの取り組み 道北モデルの横展開

① 「道の駅」等を活用した地域連携物流システムの提言



- ◆ 北洋銀行・北海道物流開発の民間2社で、地域のための地域による共同輸送の構築について提言を発表(2017年7月12日)。
- ◆ 提言に対し「地域連携物流システム」の構築を名寄で取り組みたいと支援・協力要請。

② 「道北経済人フォーラム」の開催

名寄にてフォーラムを開催(2017年10月20日)し、第1弾を道北北部地域の荷を名寄に集約し、共同輸送する取り組みをスタート。協議会も設置し本格的に検討を開始(2017年12月13日)。

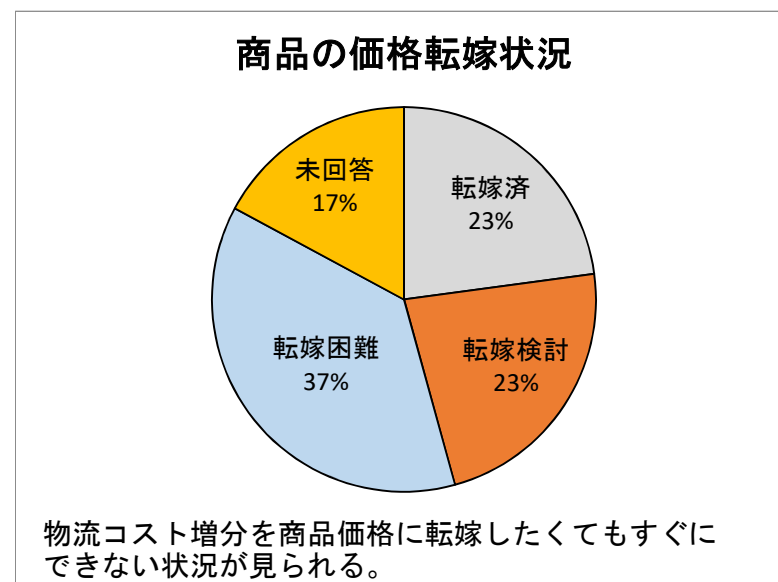
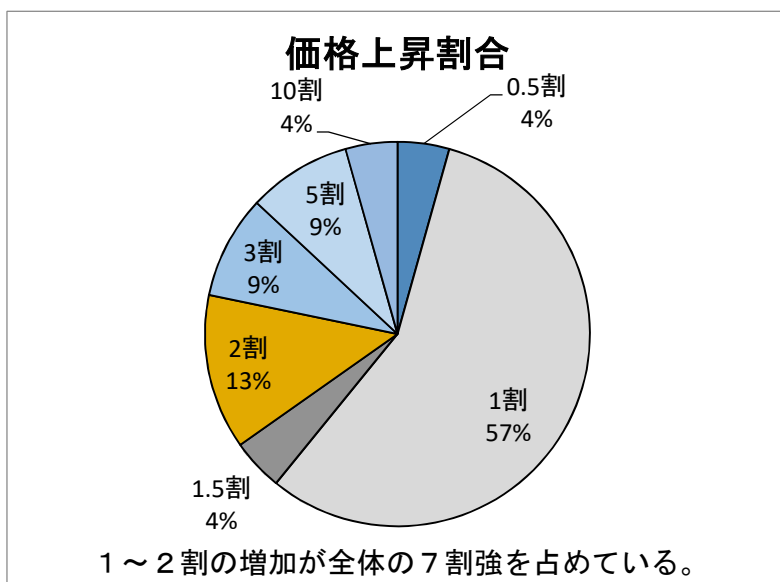
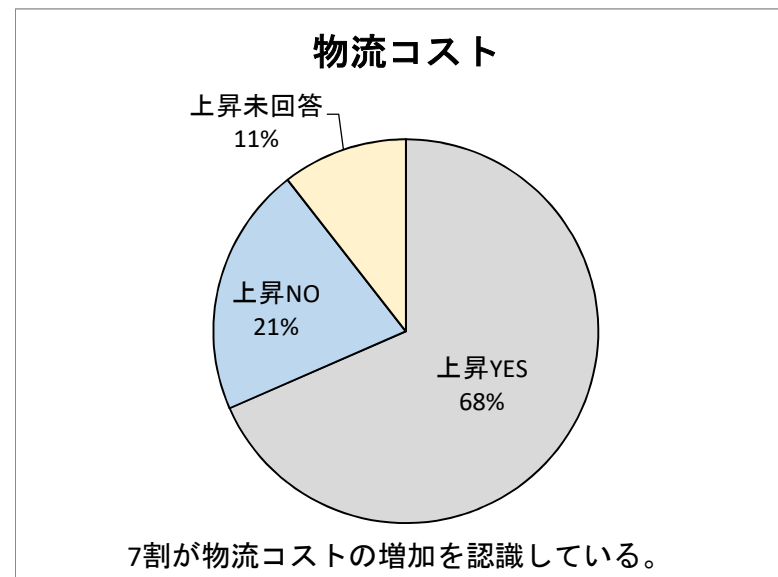
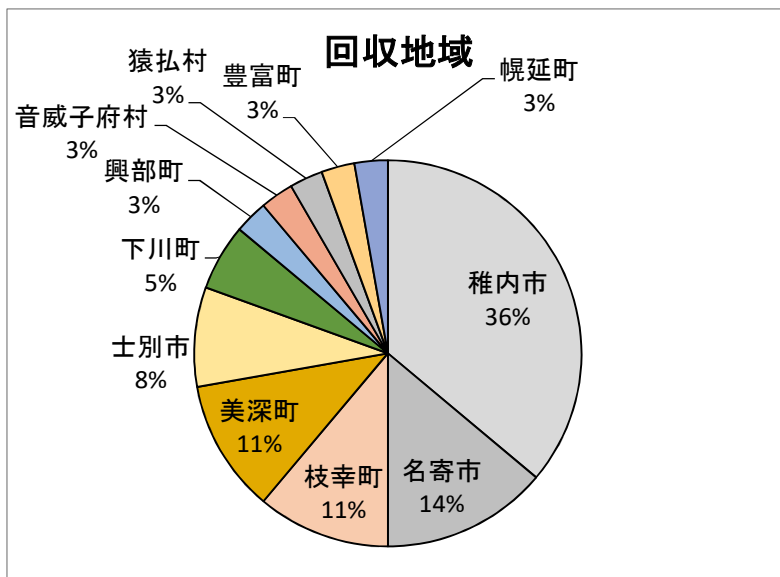


2017年10月20日フォーラムチラシ



2017年12月13日協議会発足時の様子

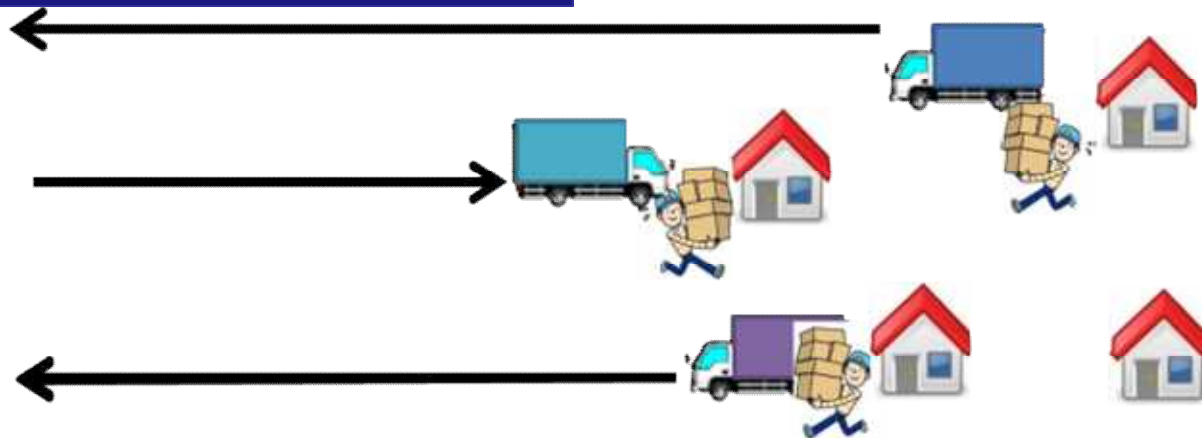
③ アンケート結果



④ 物流会社イメージ検討

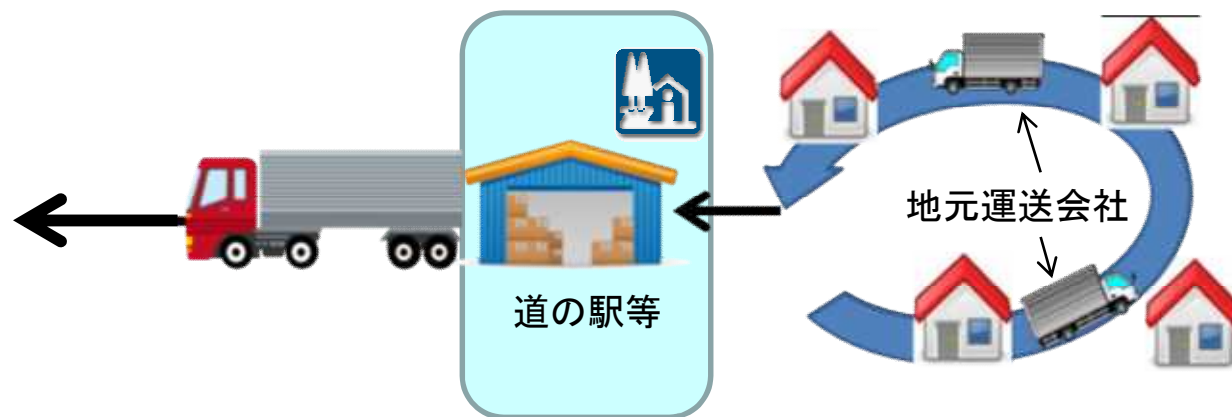
空港
・
港
・
など

これまでの配送(タクシー)



複線化(路線バス)※選択肢が増える

<地域物流会社がコーディネート>



⑤ 道庁事業を活用した道北広域からの集荷による共同輸送の実証実験

【商流の観点】

- (目的) 道産品の首都圏等への販路拡大
- (手法) 本州の商談会・北海道フェア等において道産品を売り込み
販路拡大(物量増加)を目指す(道庁事業費により販売員等拡充)

「商流」と「物流」が一体となった実証実験

【物流の観点】

- (目的) 現状の小口貨物輸送に加え、道内地方部からの共同輸送体制
の構築(複線化)
- (手法) 既存物流の検証、および商流拡大(物量増加)を伴った最適な
輸送方法の確立を目指す(道庁事業費により調査費用等負担)